地域センター病院改築助成金7億4691万円を含む

平成19年度

予算総額222億6630万円を可決

平成19年第1回定例会は、2月26日に招集され22日間の会期で開かれました。

今定例会では、平成19年度各会計予算のほか、平成18年度の各会計補正予算及び条例の制定や改正など市長側提出の32件。議会側提出では、付託審査案件の報告や条例の改正、意見案など24件が提案されました。この内、平成19年度各会計予算等16件が、特別委員会に付託され休会中に審査するなど、各議案について慎重に審議を行った結果、一部修正を含め原案どおり可決または承認しました。

また、市政及び教育行政執行方針に対する各会派・政党の代表質問を行うとともに、7名の議員による市政に関する一般質問を行いました。

平成19年度予算

◇平成19年度富良野市各会計予算は、関連議案とともに予算特別委員会に付託し、3日間にわたる慎重な審議の結果、一般会計他6特別・2企業会計及び関連する7議案は全員の賛成を持って可決しました。予算委員会の審査報告は下記のとおりです。

オープン間近な地域医療センター病院

平成18年度補正予算

●一般会計（第8号）

歳入歳出に、それぞれ86億6千円を追加し、総額142億7748万3千円になりました。今回の補正予算は、土地建物の売り払い収入を財源とした財政調整基金積立金1448万2千円、㈱空知川ゴルフ公社貸付金1億1450万円、医療扶助費の増を主とした生活保護費336万1千円、市内唯一の公衆浴場確保対策補助金105万2千円、新規3件に対する企

予算特別委員会報告

平成19年度各会計予算・関連議案など全付託案件を全会一致で原案どおり可決

◇平成19年度各会計予算を審査する予算特別委員会は、3月8日、全議員をもって設置され、一般会計・6特別会計・2企業会計及びこれに関連する基金の処分や条例の一部改正など全16件の議案が付託されました。

◇審査は、3日間の日程で行なわれ、平成19年度は前年度が骨格予算であったため、一般会計当初予算対比で4・5%増となりました。国の交付税の削減や三位一体の改革による補助金の削減などを背景とした厳しい財政状況の中にあって、特に各委員からは、まちづくり、医療・福祉対策、農業・商工業振興などに活発な質疑が交わされました。

◇質疑終了後、討論の申し出はなく、採決の結果、付託された全案件が全会一致をもって「原案のとおり可決すべきもの」と決定いたしました。

委員長　野嶋重克
副委員長　千葉健一

■平成19年度各会計予算額

会計		予算額	前年比
一般会計		122億6000万円	4.5%増
特別会計	国民健康保険	31億4500万円	19.1%増
	介護保険	14億6350万円	0.2%増
	老人保健	30億6350万円	2.9%減
	公設地方卸売市場	2200万円	21.4%減
	公共下水道	7億8860万円	15.2%減
	簡易水道	1億 960万円	8.0%減
企業会計	水道事業	6億2840万円	5.4%増
	ワイン事業	7億8570万円	0.4%増
合計		222億6630万円	3.9%増